

山口県感染症発生週報

(第7週:平成26年2月10日～2月16日)

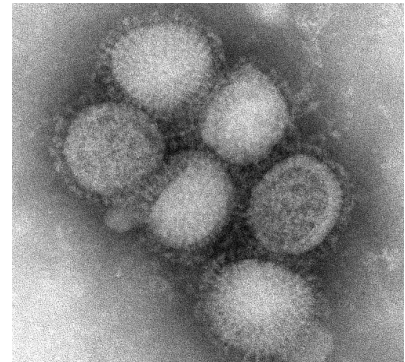
1 全数把握感染症

【2類感染症】

- ・結核: 第6週追加 2例(下関2)、
第7週 3例(下関1、岩国1、山口1)。

【5類感染症】

- ・急性脳炎: 2例(周南1、宇部1)。1例からはインフルエンザウイルスA/H3(香港型)が検出され、もう1例もインフルエンザウイルスAによるものと診断されています。



インフルエンザウイルス
CDC/ C. S. Goldsmith and A. Balish

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ: 周南からの報告数が著しく増加しており、下関・宇部でも増加しています。定点あたりでは、周南・山口からの報告が特に多くなっています。迅速診断結果は、A型674例、B型1018例、85例は臨床診断・型別不明でした。B型によるものが増加しています。[警報レベル:周南(2週目)、山口(3週目)、萩(3週目)。注意報レベル:下関(5週目)、宇部(4週目)、岩国(5週目)、防府(5週目)、柳井(2週目)、長門(6週目)]*
- ・RSウイルス感染症: 下関で多い状態が続いています。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 山口で警報レベルが続いています。[警報レベル:山口(17週目)]*
- ・感染性胃腸炎: 長門、周南、山口、萩で警報レベルが続いています。[警報レベル:長門(2週目)、周南(6週目)、山口(4週目)、萩(5週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	5週	6週	7週	疾患名	5週	6週	7週
インフルエンザ	1483	1564	1777	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	94	99	98	ヘルパンギーナ	0	0	0
咽頭結膜熱	14	13	19	流行性耳下腺炎	4	11	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	220	164	154	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	688	546	453	流行性角結膜炎	3	4	3
水痘	33	36	32	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	8	2	2	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	1	0	1	マイコプラズマ肺炎	3	0	1
突発性発しん	34	26	44	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	2	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	395	152	52	454	55	311	258	23	77	1777
RSウイルス感染症	65	2	1	10	0	3	9	6	2	98
咽頭結膜熱	3	4	0	6	0	0	3	1	2	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	5	2	18	13	51	32	2	3	154
感染性胃腸炎	64	55	9	129	23	69	43	34	27	453
水痘	8	0	1	4	3	3	2	4	7	32
手足口病	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
伝染性紅斑	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
突発性発しん	7	3	2	12	2	8	6	3	1	44
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	10	0	0	2	0	1	0	0	0	13
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0